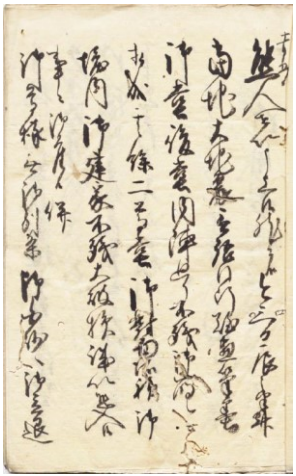
歴史資料解読による災害発生履歴調査

減災復興政策研究科　平井 敬

キーワード　古文書、翻刻、歴史災害、歴史地震

研究概要

地域に残る歴史資料を収集、解読、調査することによって、地震を中心に歴史時代に発生した様々な災害による被害や復興の過程を明らかにする取り組みを継続的に行っています。あわせて、草書で記された歴史資料を解読することができる人材の育成を目的に、兵庫県立大学と名古屋大学を基幹とする有志メンバーによる「減災古文書研究会」を主宰しています。これらの活動は、災害科学に携わる研究者のみならず人文学分野の研究者とも共同で行っているほか、建築・土木等の社会基盤の災害対策に取り組む研究者からも注目されています。さらに、この活動の成果は、地域の歴史に詳しい一般市民の方々の協力を得て、防災意識啓発のための活動にも役立てられています。



アピールポイント

本研究室ではこれまで多くの歴史災害資料を解読してきた実績があります。また、公益社団法人全国市有物件災害共済会防災専門図書館の協力を得て著書「すごろくで学ぶ安政の大地震」（風媒社、2021）を刊行したほか、図書館による災害史料展示の図録を共同執筆するなど、活動の幅が広がっています。

応用分野

・災害危険度調査　・防災教育　・教材作成